

ウェアラブルセンサー事業の立ち上げ

松屋アールアンドディでは、この度、**ウェアラブルセンサー事業**を新たにスタート致しました。昨今、テレビや新聞の記事にて、健康見守り用途として使用できる「スマートウェア」が未来技術として頻繁に紹介されており、実際、実用化されれば非常に大きな市場があると期待されています。

スマートウェアは、ウェアに色々なセンサーをとりつけて、心拍、呼吸、体温などを24時間の測定を可能にしたものですが、導電性繊維技術がその中核となっています。

それに必要な技術の一つとして今一番期待されている炭素繊維も、それを電極化する起毛技術やそれを織る織機技術も、福井には全て地場産業として全国でも有数のメーカーが集中しており、それを松屋独自の縫製自動機技術、及び、全世界の50%の血圧計腕帯センサーを製造している経験をフルに生かして、医療用に使えるレベルのウェアラブルセンサーを実用化していきます。

現在、すでに色々な生体信号が測定できるとされている安価なスマートウォッチもでてきていますが、全て、参考値レベルのものであり、医療用としては使えないが、当社ではそのレベルから一段高い医療用レベルまであげたものを出すことを目標としています。そして、入院患者、介護施設入居者、ハードな労働条件での労働者などの健康管理と見守り用としての実用化を目指しております。

問い合わせ先

メールアドレス： contact@matsuyard.co.jp